

アメリカの大学における気象部門の概要

—1970年度—

大気物理学の総合研究班

はしがき

昭和40年、日本学術会議はその第44回総会において、全国共同利用研究所として大気物理研究所設立案を採択し、同年12月13日付で日本学術会議会長は内閣総理大臣に大気物理研究所の設立についての勧告を行なった。

この勧告にしたがって日本学術会議地球物理学研究連絡委員会に大気物理研究所小委員会が設けられ、その設立具体案が協議されてきた。

具体的には昭和46年度京都大学から大気物理学研究所の設立に関する概算要求が行なわれた。このような時に、全国の関連研究者は大気物理学の総合研究班（代表者山元竜三郎ほか33名）をつくり、大気物理研究所の設立を速やかに実現するために連絡協議を行なっている。研究班では具体的設立計画案などの討議を行なっているが、その討議の参考資料のひとつとして、アメリカの大学における気象部門の概要をまとめた。

この資料により、アメリカの大学で、どの位の規模で、またどのような講義が行なわれているかをわかって頂ければ幸いである。

なおこの資料をつくるにあたり、NCAR（米国大気物理研究所）の笠原彰博士には大変お世話になった。また資料作製にあたり、東大地球物理学教室の藤木陽一氏、川端真知子女史の援助をうけた。厚く謝意を表したい。

なお以下の文中で(1)は大学における教官数、(2)は博士課程(Ph. D.)、修士課程(M.S.)を終了した人数、(3)は講義題目を列記してある。

アラスカ大学

(1) 教授 10名、準教授 14名、助教授 8名、計32名。

(2) Ph. D. 2名、M.S. 2名。(1969. 7. 1~1970. 6. 30)

(3) 天文学、天文学実験、気象力学概論、一般地球物理学、気象学、宇宙航法、天体物理学、地球物理学序

論、流体力学、電磁流体力学およびプラズマ物理学、超高層物理学および化学、電離層現象、地磁気じょう乱とオーロラ、気象力学、理論天体物理学、太陽物理学、原子・分子物理学、セミナー、スペシャルトピックス。

アリゾナ大学

(1) 教授 6名、準教授 4名、研究員 1名、専事 1名、講師 1名。

(2) Ph. D. 1名、M.S. 1名。(1969. 7. 1~1970. 6. 30)

(3) 気象学・気候学概論、物理気候学、生物気候学、気象力学、物理気象学、大気解析法、微気象学、理論気象学、数値予報の原理、惑星大気の物理と力学、雲物理学、降水物理学、大気光学と放射、レーダー気象学、高層物理学、大気電気、スペシャルトピックス、セミナー。

カリフォルニア大学

気象部門 (UCLA)

(1) 教授 7名、準教授 5名、助教授 2名、講師 2名、研究員 3名。

地球物理・惑星物理研究所

(1) 教授 6名、準教授 3名、助教授 5名、講師 2名、研究員 4名。

農業工学部門

(1) 教授 2名、助教授 2名。

水科学工学部門

(1) 教授 1名、講師 2名。

土木工学部門

(1) 準教授 1名。

(2) Ph. D. 13名、M.S. 12名。

(3) 気象学、気象学概論、大気力学、海洋物理学、総観気象解析、気象測定と観測、気象学特論、気象学実

験. 気象流体力学. 大気大循環. 中規模解析. 大気-海洋システムの力学. 雲と降水物理学. 大気の放射過程. 大気の散乱過程. 惑星大気の放射解析. 電離・非電離媒質中の波. 電離層の物理学. 非熱放射過程. 太陽風の構造. 電磁場のゆがみと運動の空力学的概観. 高層大気中の相互作用. 気象学セミナー. 大気力学セミナー. 雲・降水物理学セミナー. 大気放射セミナー. 超高層物理学セミナー. 気象解析. 天気予報セミナー. 大学院生研究. 修士試験と博士検定試験の準備. 修士卒論の研究と準備. 博士学位論文の研究.

アイソトープ地球化学. 地球化学. 統計流体力学. 地球物理学研究. 惑星・宇宙物理学概論. 惑星・宇宙物理学特論. 惑星・宇宙物理学の基礎 (1: 個体: 惑星内部, 2: 流体: 海洋と大気, 3: プラズマ: エアロノミーと惑星間物質), 連続物質の物理. 安定理論. 惑星と軌道力学. 惑星内部の物理化学. 地球・惑星の電磁場. 超高層の力学. 粒子と宇宙空間. 宇宙物理学の実験技術. 電磁流体セミナー. 太陽系の起源に関するセミナー. 惑星と宇宙科学の研究.

自然地理学 (一般気候学). 記述気象学. 地域気候学.

物理ガス力学. 放射ガス力学.

気象学概論. 気象学実験. 気象解析と天気予報. 大気熱力学と静力学. 大気放射. 微気象学. 気象測定と観測. ダイレクト グループ スタディ. 大学院進学のための特論. 農業気象学. 気候と気象. 大気汚染制御. 大気の性質. 蒸散.

カソリック大学

大気科学部門

(1) 教授 7 名, 準教授 6 名, 助教授 3 名, 講師 3 名.

(2) Ph. D. 7 名, M.S. 12 名.

(3) 流体力学の基礎. 非粘着非圧縮流. 非粘着圧縮流. 天体力学. 天文学と宇宙科学. 大気科学序論. プラズマ波と不安定論. 理論流体力学. 粘性気体力学. 流れの分離. 地球物理流体力学. 熱と気団の移転. 非ニュートン流. 高速気体力学. 超音速気体力学. 電磁流体とプラズマ力学. 流体のじょう乱とプラズマ. じょう乱境界層. 電離層物理のトピックス. 宇宙空間と大気科学セ

ミナー.

シカゴ大学

(1) 教授 10 名, 準教授 3 名, 助教授 4 名, 研究員 3 名, 気象学者, 電気技師 12 名.

(2) Ph. D. 3 名, M.S. 4 名.

(3) 気象学入門. 大気の物理化学. 地球物理学の講読と研究. (左に同じ). 流体力学安定論. じょう乱. 回転流体のトピックス. 太陽系の化学. 岩石学. 大洋波理論. 浅水海洋学. 大気と海洋の現象学. 地球物理的流体力学. (I 基礎. II 粘性流体. III 波. IV 大規模大気運動. V 大規模海洋運動. VI モデル実験) 大気の大気対流. 数値予報. 大気渦動の力学. 雲物理学. レーダー気象学. 大気電気. セミナー: 雲物理学. 高層大気の構造. 高層大気力学. 電離層と電磁層. 大気の構造 II, III. 中規模気象学. 衛星気象学. 降水物理-気象変換. 地球潮汐. セミナー: 沈殿物輸送 I. セミナー: 電離層物理学. レーダー気象学. 地球物理学講読と研究. 流体力学研究. 分散波研究. 力学予報研究. 流体力学モデル研究. 実験的流体力学安定性研究. 対流研究. 惑星循環力学研究. 理論的流体力学研究. 雲の物理・化学の研究. 遠隔大気調査研究. 惑星大気研究. 大気波動研究. 超高層力学研究. 微気象学研究. 衛星気象学研究. 関連場の講読と研究. 海洋地球物理学研究. アイソトープ地球化学研究. 博士後の研究.

コロラド州立大学

大気研究部門

(1) 教授 8 名, 準教授 2 名, 助教授 8 名.

(2) Ph. D. 3 名, M.S. 10 名.

(3) 天気・気候入門. 気象学. 各日天気実験 AT 500, 501. 大気汚染. 大気科学入門. 理論気象学. 放射的と対流的エネルギー輸送. 気候学の基礎. 大気大循環. 天気解析. 気象測器の基礎. 大気成分. 大気成分実験. 雲と降水の物理学. 数値予報. 大循環理論. 大気運動の解析. 熱帯大気. 超高層気象学. 大気特別測定法. 大気放射. セミナー. 気象測器実習. 大気力学特別研究. 一般気象学特別研究. 気候学特別研究. 雲物理学特別研究. 超高層大気特別研究. 熱帯気象学特別研究. 大循環特別研究. 気象機械特別研究. 大気成分特別研究. M.S. 研究一前に同じ. Ph. D. 研究一前に同じ.

土木工学流体力学部門

- (1) 教授 3名, 準教授 3名, 助教授 3名,
 (2) Ph. D. 3名, M.S. 4名,
 (3) 流体力学, 媒質流体力学 I, II, 輸送現象, 地球流体力学, 流体力学実験法, 地球物理的データのフーリエ解析, 粘性流体の数値モデリング, 沿岸工学, 理想流体力学 CE701, 702, 乱流拡散の統計理論, 水波動, 流体力学特別研究, 非線型力学, 乱流, 流体力学研究.

土木工学部門

- (1) 教授 16名, 準教授 17名, 助教授 8名,
 (2) Ph. D. 17名, M.S. 19名,
 (3) 媒質流体力学 I, II, 輸送現象, 地球流体力学, 流体力学実験法, 地球物理的データのフーリエ解析, 水文学と水力の統計, 理想流体力学, 粘性流体力学 CE701, 702, 乱流拡散の統計理論, 水波動, 水質水文学, 水文学特論, 理論水文学, 流体力学特別研究, 非線型力学, 乱流, 水文学の推計の方法.

コロラド大学

天文・地球物理学

- (1) 教授 6名, 準教授 7名, 助教授 2名, 講師 4名,
 (2) Ph. D. 10名, M.S. 12名,
 (3) 大気物理学, ガス体内部過程, プラズマ物理入門, 惑星内空間の電磁圏, 流体力学 I, 放射, 惑星大気光物理, 天体物理学入門, 電磁流体力学, 太陽物理学特論, 電波天文学.

大気・宇宙空間

- (1) 教授 8名, 準教授 4名, 助教授 7名, 講師 1名,
 (2) Ph. D. 6名, M.S. 12名,
 (3) 大気圏飛行機械, 宇宙航空力学, 圧縮流体, 流体のマクロ物理学, 推進力, 線型制御システム, システムアナリシス I, 生物工学 II (神経物理学), 膜輸送.

コーネル大学

- (1) 教授 16名, 準教授 13名, 研究員 12名,
 (2) Ph. D. 6名, M.S. 5名,
 (3) 気象学の基礎原理, 気候学, 熱帯気象学, 気象学の基礎理論, 物理気象学, 大気汚染, 雲物理 (雨と人工

降雨), 海洋力学, 表面波水文学, 水中の層の同化, 環境特性工学, 大気制御, 大気の波動現象, プラズマ物理入門, プラズマ波動論, プラズマ物理特論, 大気圏の放射物理学 I, II, 熱対流輸送, 天体物理学入門, 宇宙線, 電磁圏の物理.

デンバー大学

大気科学関係部門

- (1) 教授 6名, 準教授 3名, 助教授 1名, 講師 2名, 研究員 4名,
 (2) Ph. D. 3名, M.S. 2名,
 (3) 気候学, 気候学特論, 宇宙空間, 分子入門, 超高層と電磁層, 原子及び分子構造論, プラズマ物理学, 宇宙線セミナー.

フロリダ州立大学

気象部門

- (1) 教授 (客員を含む) 8名, 準教授 6名, 助教授 7名, 講師 2名,
 (2) Ph. D. 2名, M.S. 17名,

(3) 大気圏入門, 気象実験, 天気と気候, 大気・水質汚染機構, 宇宙気象学, 一般気象学 I, 一般気象学 II, 気候学入門, 海洋気候学, 大気熱力学, 教師ののための気象学, 総観講義一実験 I, 同 II, 同 III, 日常気象, 大気運動論, 大気力学 I, 同 II, 地球物理流体力学入門, 応用気象, 応用気候学原理, 物理気候学, 地球物理測定法, 物理気象学実験測定, 湿潤空気と雲物理学, 大気放射, 気象学基礎のためのリーディング, 気象予報, 総観解析特論, 中気象学, 大気大系構造, 大気力学特論, 乱流数理論, 力学天気予報, 大規模大気循環: 観測学, 同 実験法, 同 理論, 気候学特論, 物理気象測定法, 流体力学序論, 非圧縮性流体力学, 流体力学: 応用地球物理学, 空海境界層物理学, 空海相互作用実験, 高層大気 I, 同 II, レーダー気象学, プラネタリー大気, 放射の伝達 I: 下層大気, 同 II: 上層大気, 熱帯気象学, 熱帯総観気象学, 統計的天気予報, 物理海洋学序論, 海洋力学, 海洋流体力学, 海洋波, 海洋循環.

ハワイ大学

- (1) 教授 7名, 助教授 2名, 研究員 3名,
 (2) Ph. D. なし M.S. 4名,
 (3) 気象計器と観測, 理論気象学実験 I, II, 理論

気象学 I, II, 熱帯気象学, 気象解析実験, 熱帯解析実験, 熱帯海洋気象学, 熱帯気象実験特論, モンスーン気象学, 大気乱流, 雲物理学, 物理気象学, 統計気象学, 数値解析と予報, 理論気象学特論 I, 同 II, 熱帯気象専門論, 気象学セミナー, 高層大気物理学, 気候学序論, 気候学特論, 気候学セミナー, 農業気象学, 気象学特殊問題,

ジョン・ホプキンス大学

(1) 教授 8名,

(2) Ph. D. 3名,

(3) 地球および惑星科学; 地球科学の諸問題, 地球科学序論, 天候と気候, 気象学序論, 気象学, 海洋物理学, 波および潮流, 海洋および大気力学, 地球物理流体力学, 河口海洋学, 海洋乱流,

力学; 乱流, 動波力学, 地球物理流体力学, 地球物理流体力学セミナー,

物理学; 分子構造およびスペクトル周波数, 物質構造および分光学, イオン化ガス物理学,

メリランド大学

(1) 教授 11名, 助教授 8名, 講師 2名, 研究員 1名,

(2) Ph. D. 2名, M.S. 3名,

(3) 記述および総観気象学 I, 同 II, 大気物理学および大気熱力学, 海洋物理学および力学, 海洋波・潮波および乱流, 大気および宇宙物理学序論, 流体力学特論, 水文学解析および目的, 環境衛生工学分析, 大気汚染, 原子核工学の環境的考察, 大気汚染源のコントロール, 気象力学 I, 同 II, 大気の大気乱流および拡散, 天候数値予報, 地球流体力学, 統計的気象学, 微気候学, 大気汚染気象学, 気象学特殊問題, 気象学セミナー, 論文研究, 学位論文研究, 一般気象学特論, 応用気候学, 気候学セミナー, 環境衛生学の生物学的原理, エーロゾル科学および応用科学, 大気のサンプリングと解析, 大気汚染セミナー, 大気および宇宙物理学序論, 高層大気および宇宙線物理学, 高層大気物理学,

マサチューセッツ工科大学

(1) 教授 12名, 助教授 2名, 研究員 8名,

(2) Ph. D. 10名, Sc. D. 3名, M.S. 7名,

(3) 記述気象学, 長期天気予報, 空海測器, 流体力学実験, 気象学統計法, 気象学における統計的諸問題, 総

観気象学 I, II, 数値予報, 総観実験 II, 気象力学序論, 気象力学 I, II, 流体力学上の任意現象における乱流, 惑星流体力学, 大気基礎物理学, 大気降水過程, 物理気象学, 高層物理学, 地上および内部波, 海洋運動理論, 海洋および大気波動, 物理海洋学, 海洋力学, 学部学生研究, 海洋循環, 海洋物理学セミナー, 海洋変異性海洋学の特殊諸問題, 気象セミナー, 気象学上の特殊諸問題, 気象学上の特殊論題, 海洋学上の特殊論題,

マイマミ大学

(1) 教授 6名, 準教授 2名, 助教授 1名, 研究員 7名,

(2) Ph. D. なし, M.S. なし,

(1) 惑星流体力学序論, 気象電気, 地球物理流体力学 I, II, 気象観測体系論, 物理気象学, 大気科学序論, 大気科学セミナー, 研究, 空海相互作用, 熱帯気象学, 応用熱帯気象学諸問題, 高層物理学, 雲物理学, 大気構造および力学 I, III, IV, V, 流体力学コンピューターモデル, 大気化学, 大気科学特別研究, 大気科学特論, 特別研究,

ミシガン大学

(1) 教授 10名, 準教授 1名, 助教授 4名, 研究員 6名,

(2) Ph. D. 7名, M.S. 19名,

(3) 天気および気候, 大気および海洋科学序論 I, II, 地球物理データ実験 I, II, 物理気候学, 大気熱および熱力学, 大気中における放射熱, 地球物理流体力学, 雲および降水過程, 気象電気, 微気象学 I, II, 大気力学 I, II, 天気分析実験, 気象測器, 大気汚染気象学, 高層物理学序論, 大気化学, 予報における確率と統計, 大気における物理過程, 大気力学および数値予報, 気象解析実験, 気象学セミナー, 学生研究指導, 放射の伝達一熱過程, 放射の伝達一熱散乱, 成層圏および中間圏, プラネタリー大気, 気象測器の設計と検定, 大気汚染化学, 大気および海洋放射, 地球流体力学へのコンピューター応用, 気象学における統計的方法, 大気乱流および拡散, 気象学および海洋学上の特殊諸問題, 大気科学, 気象および海洋研究, ドクター論文,

ミネソタ大学

(1) 教授 13名, 研究員 2名,

(2) Ph. D. 7名, M.S. 3名,

(3) 気象力学序論, 雲物理学, 宇宙線および宇宙物理における現代の諸問題序論, 大気力学セミナー,

ミズリー大学

(1) 教授 15名, 助教授 4名, 講師 1名, 研究員 9名,

(2) Ph. D. 2名, M.S. 5名,

(3) 気象学序論, 気象学実験入門, 農業気象学, 一般気象学 I, II, 気象解析, 世界の気候, 諸問題(大気科学), 大気内放射, 雲および降水物理学, 大気静力学および熱力学, 大気運動学および力学, セミナー, 気象力学特論, 大気乱流及び汚染, 大気大循環, 気象静力学, 気候力学特論, 研究, 雲物理学, 大気化学,

ニューヨーク大学

(1) 教授 11名, 準教授 4名, 助教授 4名, 研究員 7名,

(2) Ph. D. 9名, M.S. 17名,

(3) 科学序論: 地球物理学, 地球物理科学序論, 気象力学および海洋学, 記述気象学および海洋学, 天気解析および予報, 物理気象学, 地球惑星, 地球物理科学における統計法, 力学天気予報, 測候所オペレーション, 気象学および海洋学上級セミナー, 海洋学, 気象および海洋測器原理, 気象学および海洋学における統計法, 物理海洋学, 大気汚染化学, 大気汚染分析, 大気汚染管理工学, 大気汚染の影響, 大気化学および放射, 天気解析, 気象力学, 大気放射, 大気および海洋乱流, 大気および海洋中の波動, 天気予報, 理論気象学および海洋学大系, 気象学特殊論, 高層物理学, 惑星大気, 地球物理の統計現象, 電波気象学, 地球物理水文学, 小気候および汚染源の分散, 熱帯気象学, ロケットおよび衛星による気象測量法, 大気大循環, 海洋学特殊論, 海洋力学, 海洋波の分析と予報, 海洋学選択諸問題, 海洋, 海洋分野研究, 海洋データ分析, 海洋学および宇宙応用科学, 海水の電磁性, 海水中における音の伝達, 気象学および海洋学研究方法, 気象学研究, 海洋学研究, 気象学特別研究, 海洋学特別研究,

オクラホマ大学

(1) 教授 3名, 準教授 4名, 助教授 2名, 講師 2名,

(2) Ph. D. 4名, M.S. 6名,

(3) 天気と人間, 大気地球物理学 I, II, 大気静力学および熱力学, 大気運動学および力学, 大気物理学, 気象測器, 総観気象学, 気象学実験 I, II, 都市気候, 気象学特殊諸問題, ……例, 気象データの収集と処理, 統計気候学, 生物気象学, 気象学選択研究, 例, ……熱帯気象学, 北極気象学, 強いストーム(雷雨, サイクロン等), 個別研究, 気象学における実験計画, 気象学選択論, 応用気象学論, ……例, 都市気候, 大気および水汚染, 気象データ処理システム, 世界気象学, 気象測器システム, 大気力学, 数値予報序論, 海洋物理学, 高層気象学, 特別セミナー, 特別輪読, 大気放射, 雲および降水物理学, 大気乱流および拡散, 微気象学, 気象解析 II, 特別研究,

ペンシルバニア州立大学

(1) 教授 7名, 助教授 3名, 講師 3名, 研究員 8名,

(2) Ph. D. なし, M.S. 9名,

(3) 天気と人間, 気象学序論, 大気科学序論, 海洋, 気象特別研究, 教師のための気象学, 教師のための物理気候学, 教師のための生物気象学, 気象学における科学研究計画, 天気予報物理学, 総観気象学序論, 高層大気物理学序論, 熱帯気象学, 総観気象実験序論, 総観気象実験 I, II, 総観解析法特論, 物理気象学, 水文気象学, 気象学への統計学の応用, 力学気象序論, 大気の水文学, 大気熱力学, 気象測器理論, 物理および力気候学, 微気象学序論, 気象学セミナー, 気象学特論選択, 大気乱流, 生物気候学, 気象解析特論, 海洋力学, 高層大気物理学, 理論気候学, 雲物理学, 大気運動, 大気波動, 大気力学特論, 大気運動エネルギー,

セントルイス大学

(1) 教授 15名, 助教授 4名,

(2) Ph. D. なし, M.S. 4名,

(3) 大気物理学序論, 気象測器, 総観気象学実験, 総観気象学, 総観気象学原理, 大気物理学序論, 気象力学, 気象力学原理, 気候学, 気候統計, 気象測器セミナー, 数値予報, 熱帯気象学, ジェット流の総観気象および力学, 強いストームの気象学, 総観気象学セミナー, 基礎大気物理学, 物理気象学, 大気中の放射過程, 大気物理学セミナー, 気象力学特論, 気象学および総観気象学応用, 大気乱流, 気象力学セミナー, 気象衛星, 気象衛星セミナー, 地球電磁気学序論, 水文学, 地球物理科

学序論, 地球物理の時系列解析, 地球電磁気特論, 地球科学卒業研究序論, 一般天文学, 天文学序論, 光学, 地球電磁気学, 原子物理学, 理論物理学, 熱力学, 統計力学, 電気学および電磁気学の数理論, プラズマ物理学, 固体物理学.

テキサス (A&M) 大学

(1) 教授 13名, 助教授 3名, 講師 4名, 研究員 2名.

(2) Ph. D. 7名, M.S. 13名.

(3) 天気および気候学序論, 大気科学, 気象通報および予報, 航空気象学, 一般気象学, 気象測器と観測, 物理および局部気候学, 大気静力学および熱力学, 大気力学および運動学, 気候学体系, 気象力学, 大気物理過程, 物理気象学, 基礎気象解析, 天気解析および予測, 総観気象学, 農業気象学, 海洋気象学, レーダー気象学, 気象学の軍事応用, セミナー, 諸問題, 気象学概論, 測器理論および設計, 大気の遠距離測定, 応用気候学, 気象力学, 数値予報, 大気放射, 雲および降水物理学, 高層大気気象学, 宇宙気象学, 熱帯気象学, 中気象学, 総観気象学, 大気乱流, 微気象学, 農業気象学, レーダー気象学, 水文気象学, セミナー, 諸問題, 研究.

テキサス大学 (オースチン)

(1) 教授 12名, 助教授 5名, 研究員 3名.

(2) Ph. D. 6名, M.S. 9名.

(3) 環境衛生工学, 産業衛生学, 水文学, 大気資源, 水資源, 環境衛生: 大気および水分析, 流体力学特論, 水文工学, 大気科学卒業生セミナー, 大気汚染および産業衛生学, 大気資源: 大気汚染監視と調査, 大気資源: 大気汚染制御装置設計, 大気科学特論, 客観的解析, 数値予報, 大気乱流, 大気境界層, 統計気象学, 大気エネルギー転換, 気象力学特論, 雲物理学, レーダー気象学, 一般論題, 大気クリーニングにおけるユニットオペレーション, 土木工学特別研究, 大気科学, 論文, 学位論文, 記述気象学, 一般気象学, 大気物理学, 気象測器と観測体系, 工学気象, 大気熱力学, 高層大気物理学, 物理気候学, 気候学, 総観実験, 総観気象 I, II, 気象力学, 微気候学, 海洋物理学, 気象学特別研究, セミナー.

ユタ大学

(1) 教授 26名, 準教授 3名, 助教授 10名.

(2) Ph. D. 3名, M.S. 17名.

(3) 高層物理学, 大気汚染, 大気汚染セミナー, 大気拡散, 大気乱流の理論および構造, 気候学, 気候学特論, 雲物理学, 圧縮性流体, 連続観測, 地球と人類, 宇宙環境工学体系, 環境毒物学序論, 環境毒物学および放射生態学, 流体力学, 流体力学特論, 流体力学序論, 流体力学 I, II, 流体力学実験, 流体力学実験技術, 流体力学振動メソッド, ガス力学, 地磁気学, 水文学, 水文学特論, 自然地理学序論, 気象学序論, 一般気象学, 気象力学, 気象力学特論, 指導者のための気象学, 気象観測および測器, 気象セミナー下級, 気象セミナー上級, 気象セミナー卒業生級, 微気候学, 物理気候学, 物理気象学, 物理海洋学, 放射理論基礎, 放射理論原理および気象学応用 (長波および短波放射), 気象問題特論, 総観気象学実験, 総観気象学特論, 水文気象学, 水文気象学特論, 研究コンサルテーション, 論文研究, 高層大気, 粘性性流出理論 I, II.

ワシントン大学

(1) 教授 12名, 助教授 6名, 研究員 5名.

(2) Ph. D. 5名, M.S. 6名.

(3) 大気調査, 大気序論, 大気学序論, 物理気候学, 局部気候学, 微気候学, 大気物理学序論, 大気観測および解析, 大気科学個人指導, 大気物理学, 雲過程序論, 大気運動, 大気データ解析, 予報実験, 海空輸送過程, 気象学あるいは気候学リーディング, 気象学あるいは気候学特別問題, 氷および雪の物理学, 氷河学 I; 雪および氷塊の形成, 氷河学 II; 構造氷河学, 氷河学 III; 力氷河学, 実地氷河学, 局部気候学特論, 大気汚染関係大気問題セミナー, 応用気象学および生物気候学, 高層大気, 気象電気, 大気放射, 衛星による天気観測, 雲物理学, 高層大気構造および力学, 気象力学, 惑星流体力学, 大気大循環, 大気乱流, 大気解析特論, 気象測器理論, 実験気象学実験, 独立研究あるいは調査, 論文, ドクター論文.

ウィスコンシン大学

(1) 教授 18名, 助教授 3名, 研究員 7名.

(2) Ph. D. 8名, M.S. 14名.

(3) 気象学研究, 大気科学の概念, 人類の大気的環境, 海洋学研究, 大気科学 I, II, III, 中間総観実験, 総観実験特論, 微気象学, 物理気象学, 基礎天文学.

(以下84頁に続く)